

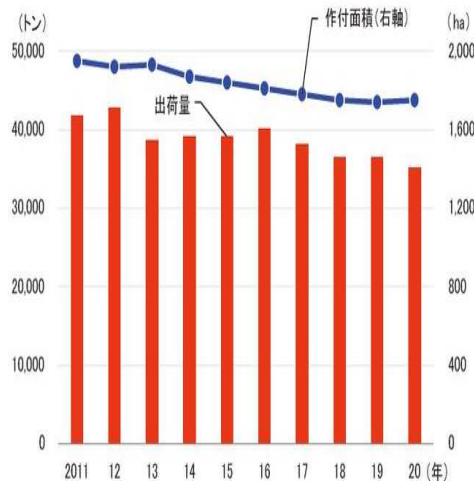
ショウガ栽培が注目

我が国におけるショウガの需要は、回転寿司などの人気や健康志向の高まりを背景に老若男女に幅広く支持され、今後も拡大が期待されています。一方、供給面では図1の通り年々生産量が減少しています。また輸入では9割が中国から依存しており、天候不順や政治リスクによる供給不足が懸念されることから、国産への見直しが進んでいます。

今回はショウガの肥料設計についてご紹介し

ます。ショウガは連作障害が起こりやすく、特に根茎腐敗病の発生が作付け減少原因の一つになっています。当社では予防対策として、カニ殻由来資材「キッチンクラブ」を推奨しています。カニガラ分解で生成されるキチナーゼ酵素の働きでカビの増殖を抑制します。また元肥には、発根を促進する『マグホス』と、安定した肥効で根への負担が少ない「しき島9号」を併用し、健全な根の維持を図ります。病原菌が増殖する前から積極施用をおすすめしています。当社推奨の肥料設計を健全なショウガ栽培にお役立てください。

日本のしょうが生産の状況



資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」

注：年産区分（注たる収穫・出荷期間）は、4月～翌3月。

露地ショウガ元肥設計（10a）

キッチンクラブ	200kg（カニガラ＋石灰微量元素）
マグホス	100kg（優れたリン酸吸収の苦土リン酸資材）
しき島9号	240kg（肥効の安定した3要素肥料）

公式YouTubeチャンネル&LINE登録をお願いします。
 ホームページURL <https://www.takichem.co.jp>
 メールアドレス aguri@takichem.co.jp



※この「多木肥料テクニカルニュース」は多木公式 LINE にも投稿しております